

おうちで作成 ネットで申告



中学生の「税についての作文」 福江税務署長賞

税金がある意味

五島市立 久賀中学校

三年

古野 月夢

私達、子どもが身近に税と関わるのに消費税があります。消費税は全世代が支払う税であり、税には約五十種類もあります。例えば、所得税や地方消費税、自動車税など、みんなが平等に支払えるように沢山の種類があるのです。これらの税が何に使われているのか、あまり知らないの、今回を機に調べてみることにしました。

インターネットで調べた結果、私が一番わかりやすいと思った例が二つあります。一つ目は学校です。学校で使う物は大体が税金によって負担されています。具体的な物として、教科書があります。新学期、新しい教科書をもらいます。教科書を渡されると、先生から「教科書は税金によって負担されているので大切に使いましょう。」

と何度も言われてきました。教科書の後ろには小さい字で「税金によって無償で支給されています。」と書かれています。私達学生が日頃から使っている教科書は税金によって負担されているのです。他にもプールや理科の実験道具なども税金によって負担されています。

二つ目は大阪万博です。現在は賑わいを見せていますが、建設前はどうも批判されていました。批判されていた理由はいくつかあります。建設費の高騰や安全性を心配する声などがありました。一方で経済効果を期待する声や世界から注目される機会にもなると言われてきました。私

は、万博建設前にたくさん批判がある理由に建設費の高騰や安全性を心配する声よりも税金によって作られている事に一番批判が来ているのでは無いかと思いました。建設費は、国、大阪府、経済界が分担しています。私達が直接納めているわけではありませんが、未来の負担額が減るとも言えるでしょう。政治家により本当は家庭や地域貢献、医療など様々な場面の負担減少に使われる予定だった税金が建設に使われている事に不満を持ったと思います。しかし、開催してみると、約三ヶ月後には一千万人以上の人が来場しました。世界の国々をモチーフにしたパビリオンなど、たくさんの人を惹きつけるようなものがあります。私はまだ、万博に行ったことが無いので、経験として話すことはできませんが、ニュースやSNSなど見ていると、日本人だけでなく外国人も来場していることがわかります。建設前は赤字になると批判されていた大阪万博も、批判していた人たちが黙らせるほどの成果を収めました。現在は、大阪万博来場者数約二千八百二十万人を目指して活動しています。

私はまだ消費税としか関わりを持っていませんが、これからの未来、私達と税は深く関わってきます。税金について学ぶ機会もなくなっただ納めるだけの大人になりたくないです。今のきれいな日本があるのも今の働き世代のおかげであり、これからの未来を明るくするのは私達だと思っています。税金は今も私達の生活に役立っています。